

戸口

人種

氣候

り、城壁高さ二丈二尺五寸、厚さ一丈七尺、周圍約一里に餘れり。人家は城の内外合せて五千五百餘、人口約二万五千と稱するも、是れ單に土着民の計算にて、現在の實數に非らず。其他北門外には、露國の居留地ありて、露商約三十戸開店す。試に以上二萬五千の人民を、人種にて別かてば、漢回二千餘、漢人一千餘、纏頭商家三千四百餘、自餘は皆纏頭にして農を業とす。又其の漢人は直隸人（通常天津人と稱す）大部を占め、湖南湖北人之れに亞ぐ。漢人は阿片若くは酒を嗜み、他人種に驕るの風あり。漢回は團結力強く、時々禮拜の口實下に、集合商議すること有るか故に、地方官憲は殊に之に注意し、禮拜は教會堂の外にては決して許さず、且つ市中の無賴漢を願使し、絶えず其動作を探偵せしむ。

氣候は互寒酷烈の地なりしも、人口の繁殖に従ひ、次第に溫和に爲れりと。雨季は五六月なるも降量少なく、毎年多きも四五回とす、土民は寧ろ之を忌む。蓋し地中の鹹地表面に分泌して、穀類の嫩芽を枯死せしむればなり。降雪季は十一月以降翌三月に至り、十數回に及ぶを常とし、毎回尺餘に達す、現に予の滯留中、同量の積雪ありき。風は西北風、大且つ多く、其の最大なるは三、四、五月の交とす。新疆省の